

この夏「平成29年度 JBDFはじめてのボールルームダンス(社交ダンス)指導者養成講習会 第1期」が全国6か所にて開催されました。これは、わたくしたちJBDFが、totoスポーツくじ助成事業として毎年開催しているもので、ボールルームダンス(社交ダンス)の特徴である「音楽」「運動」の両面から、「創造できる楽しさ」「人とのかかわりの調和」等の学びの体験を通じ、健やかな心身を育むことを目的に、学校、地域でのボールルームダンス指導の実践に役立つ実技と指導法を講習するものです。そして、この指導者養成講習会は、平成21年度より教員免許状更新講習として指定されています。

8月20,21日の両日は大阪府で近畿・中四国地区の講習会が28名のご参加を得て開催されましたので、その模様をお伝えしたいと思います。

この講習で特徴的なことは、ステップを教えて踊れるようにするのではなく、踊りのリズムを体にしみ込ませ、簡単なステップで音楽とダンスを共有する楽しさを体感させるというところ。確かに学校で教えることを考えれば、これはたいへん優れた手法と言えます。

まずはチャチャチャ。円を作ってひたすらリズムを体に入れる作業を繰り返します。今回の講師は島輝子先生と大島寿子先生。お二人とも全日本級のトップダンサーでありながら、ダンス入門の入り口のところを優しく丁寧に説明していかれます。



次にワルツですが、こちらも同じように進んでいきます。
気が付けば、ちゃんとダンスになって踊れていました。すごいです！



2日目の最初は講義です。



講師は佐伯年詩雄先生。「これからの学校学習とボールルームダンス」というお題をわかりやすく、時に時局にあった説明で説いていかれます。受講生の皆さんも熱心に耳を傾けていらっしゃいます。



昨日の復習ではすっかりチャチャチャとワルツを踊りこなす皆さん。



そして第2日目の課題ジルバにも取り組みます。



最初はリズムエクササイズから。

気が付けば、ちゃんと組んでリード&フォローで流れるように踊っていますよ！



教員免許状更新先生の実技試験も見事に合格した後は、授業の展開例としてグループ毎にオリジナリティーを盛り込んだダンスを発表します。



最初に習ったリズムエクササイズも取り入れて学習したステップだけでワルツを踊り切ったペア、こどもの好きな馬飛びやブレイクダンスも取り入れてチャチャのリズムに乗せて踊ったペアなどそれぞれの工夫が光る演技発表でした。

先生方は教えることのプロフェッショナル。習うこともとてもお上手です。講習スタッフの方もたくさんのお話を学ばせていただきました。

かくして暑い大阪の熱い講習会は無事終了、秋の第2期での再会が楽しみです。